

信 3.29 (3016)

▼福島原発、土砂の下敷きで作業員死亡

東京電力は28日、福島第1原発で放射性物質に汚染されたがれきなどを保管する固体廃棄物貯蔵庫の近くで、建物の強度を調査していた協力企業の男性作業員が、土砂の下敷きになったと発表した。男性は救出されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。

福島県警によると、男性は福島県広野町下北迫火の口、安藤堅さん(55)。新潟県五泉市出身で、作業のため福島に来ていた。東電によると、原発事故後、病気や体調不良などが原因で作業員が死亡したケースはあるが、収束に向けた作業中の死亡事故は初めて。東電は安全点検のため、29日の全ての作業を中止する。

福島県警双葉署が業務上過失致死容疑で調べている。

尾野昌之原子力・立地本部長代理は「大変残念で、ご冥福をお祈りしたい。安全を徹底する必要がある」と述べた。